

学校関係者評価委員会報告

日 時 : 令和4年5月20日(金) 10:30~12:00

会 場 : 熊本デザイン専門学校 501 教室

出席者 : 評価委員 (8名)

西山 喬 様	(総合企画株式会社 会長)
有田 満里子 様	(有限会社有田 代表取締役社長)
川口 滋 様	(くまもとデザイン協議会 会長)
田中 千秋 様	(株式会社放送技研 代表取締役)
島村 徹 様	(一般社団法人熊本県建築士事務所協会)
城本 信佐 様	(熊本学園大学付属高等学校 副校長)
藤本 亜紀子 様	(在校生保護者)
内村 友造 様	(同窓会会長)

学校側出席者 (10名)

内藤 謙一	(学校長)
徳村 尚晃	(事務局長)
高峯 英幸	(統括部長)
千田 浩一	(教務部長、建築・インテリアデザイン科 主任)
児玉 守	(副教務部長 メディア映像デザイン科 主任)
松本 雪	(ファッションデザイン科 主任)
児玉 竜也	(グラフィックデザイン科 主任)
石本 信二	(入学相談室 室長)
藤本 翔太	(キャリア支援室)
平野 恵子	(書記)

議事

◇校長挨拶

開会にあたり校長より挨拶を行った。

◇評価委員並びに学校側出席者自己紹介

教務部長より、それぞれ出席者の紹介を行った。

◇学校概要説明 (千田教務部長)

- ①沿革の概要
- ②各学科学生数構成
- ③学生募集の状況
- ④就職状況

◇自己評価結果報告

千田教務部長より、以下について説明を行う。

1.教育理念,目標

- ① 教育理念・目標・育成人材像
- ② 各学科・コースの目標実現に向けた、単年度ごとの現状分析・検証と年度目標の策定
- ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想と中期構想
- ④ 教育理念・目標・育成人材像・特色等についての保護者への周知

2.学校運営

- ① 運営方針、運営組織、各種諸規定等の作成と教職員への明示、浸透について
- ② 運営方針に沿った教育計画の策定
- ③ 公務分掌の組織の機能と効率について
- ④ 意思決定システムの確立について
- ⑤ 教務会議における各学科目標と進捗、学生状況、就職状況等の把握と検証の機能
- ⑥ 必要に応じた各種委員会や全体協議の適宜開催について
- ⑦ 人材育成目標達成に向けた授業展開要件を備えた教員の確保について
- ⑧ 関連分野における業界連携を通じた優秀人材の確保とマネジメント
- ⑨ 先端的な技術修得、指導力育成等の資質向上に向けた研修の取り組み
- ⑩ 教職員合同研修における意見交換、講話を通しての資質向上について
- ⑪ 人事・給与に関する規定等の整備
- ⑫ 教育活動等に関する情報公開 について
- ⑬ 情報システム等による業務の効率化

3.教育活動

- ① 教育理念、各学科ごとの教育目標に沿った教育課程の編成
- ② 業界が求める人材ニーズに向けた人材育成像について
- ③ 関連分野の企業・業界等との連携によるカリキュラムの作成、見直しについて
- ④ 関連分野における実践的な職業教育の体系的な位置付け
- ⑤ 授業評価の実施と評価体制
- ⑥ 学生の知的好奇心に応える授業や分かる授業の実践への取り組み
- ⑦ 職業教育について、外部関係者からの評価を反映しているか
- ⑧ 成績評価、単位認定、進級・卒業判定基準の明確化
- ⑨ 資格取得等に関する指導体制とカリキュラムの中での体系的な位置付け
- ⑩ 教育活動を通じた人権尊重の精神に立つ教育実践

4.学修成果

- ① 就職率の向上について
- ② 資格取得率について
- ③ 退学率の低減について
- ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価

5.学生支援

- ① 就職に関する支援体制について

- ② 学生相談に関する体制について
- ③ 学生に対する経済的な支援体制の整備
- ④ 学生健康管理に関して
- ⑤ 課外活動について
- ⑥ 親元を離れている学生の生活環境への支援体制
- ⑦ 保護者との連携について
- ⑧ 卒業生への支援体制と同窓会との連携

6. 教育環境

- ① 施設・設備の整備
- ② 学外実習、インターンシップ、国内研修、海外研修等の教育効果と危機管理体制について
- ③ 防災に対する体制について

7. 学生の受入れ募集

- ① 学生募集活動について
- ② 学生募集活動時における教育成果の情報共有について
- ③ 入試について
- ④ 学納金について

8. 財務

- ① 中長期的に見た財務基盤の安定について
- ② 予算・収支計画について
- ③ 財務について
- ④ 財務情報公開体制について

9. 法令等の遵守

- ① 法令遵守について
- ② 個人情報の保護について
- ③ 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善について
- ④ 自己点検・自己評価結果の公開について

委員の意見等

1. 教育理念, 目標

- 学校の教育理念・育成人材像について、学校説明会や保護者会等での直接周知が一番だが、出席できない保護者への周知の機会、方法を検討した方がいいのではないか。
- 社会経済のニーズを把握するためには、キャリア支援室だけでなく、教員が積極的に業界とのつながりを求めて行動したほうが良い。
- 具体的な中期構想が関係者に見えてこない。もっと可視化してほしい。

<今後の改善、方針等>

- 保護者会開催の時期を含め、どのような機会で行うか検討する必要がある。

緊急時の学内連絡手段として、「KDC 学内連絡」が HP 上にあるが、学校通信や日常の学校生活などを知らせるツールの設置も考えていきたい。

- 昨年度より、教職員が卒業生の在席する企業に出向き、卒業生の就業状況の把握や業界動向等のヒアリングを行っているところである。今後、収集した情報を専攻構成やカリキュラム等に反映させていきたい。
- まもなく学校創立30周年を迎えるにあたり、これまでを振り返るとともに、新たな学校の将来像を描く時期に来ていると思われる。しっかりとした中長期にわたる構想を作っていきたい。

2,学校運営

- 人事・給与規定は適切なものとなっているか。又、規定そのものの整備も必要なのではないか。
- 会議の場だけでなく、日常的な教職員間の意思疎通や意見交換が積極的に行われているかどうか重要である。
- 教職員の研修にもリモートが取り入れられていると聞く。気軽に多くの研修機会が得られると思うので積極的な参加を図ってほしい。

<今後の改善、方針等>

- 給与規定はあるが、規定だけでは人生設計の部分が見えづらい。規程だけでなく、その先の指標が見えるようにしていきたい。
- 教職員のコミュニケーションは多いと思うが、学科内での話題が中心となっている。学校全体にからむ話題提供に心がけていきたい。
- 教職員の研修は、リモートが主体となるが積極参加を促している。リモートでの複数参加も可能であり、今後も活用していきたい。

3,教育活動

- 就職後のミスマッチ、早期離職を防ぐためにも、就職活動時のインターンシップ参加が重要だと思う。
- 産学連携が活発に行われている。今後も安定した取り組みができるよう工夫してほしい。
- 資格・検定の合格率向上に積極的に取り組んでほしい。

<今後の改善、方針等>

- 就職活動の一環としてのインターンシップはかなり増えており、積極的に参加させている。
- 産学連携プロジェクトはこれまで企業の持込案件が多かったが、教職員が外部に対し積極的に動くことで安定した数を見込むことが可能となった。今後も積極的に取り組んでいきたい。
- 資格や検定の合格率向上については、授業だけでなく学生個々人の取組方に依るところが多いと感じている。本年度より、学生が効率よく学べる環境づくりの一

環として独学用ソフトウェアの試験的導入を行う予定である。

4,学修成果について

- 退学率低減に向けて対策はどのようなものか。
- 学修成果の指標としての努力目標など項目を設定し、明確にすることも必要だと思う。

<今後の改善、方針等>

- 昨年末から専門のカウンセラーに入ってもらい、問題解決に向けて担任と連携した取り組みを行っている。
- 前年度の検証を行った上で、次年度の具体的施策を設定し明確にしていきたい。

5,学生支援

- 各項目の体制がどのように整備されている必要があるか、どのような状態が有効に機能していると捉えられるのか、項目ごとに目標を設定したほうが良いのではないか。
- 国の制度により、相当数の経済的支援が行われている。本校独自の経済的支援はその穴を埋めるべく、適所に行ってほしい。
- 学内での学生の体調管理体制はどうか。
- コロナ禍で就職活動の状況が変わって来ている。しっかりとした支援体制を確立してほしい。

<今後の改善、方針等>

- 次年度に向け、学生支援の項目に係わらず、自己評価各項目について詳細な目標の設定を検討する部会を設置する。
- 本校独自の奨学金制度については十分な検討を行ったうえで、適切に運用していきたい。
- 現在でも日々の検温や体調チェックを行っている。学内で体調不調を訴えた場合、保健室で休ませることがあるが、時期によってはベッド台数が不足することも出てきている。保健室の環境整備を行い対応していきたい。
- 就職指導は、担任とキャリア支援室が連携して指導にあたり、本年度より教員の会社訪問もスタートした。今後はキャリア支援室の更なる体制強化を図り、企業訪問、学生指導等に手厚い対応が出来るよう整えていきたい。

6,教育環境

- 施設・設備においては、ハード面とソフト面で分けて見て行く必要があるのではないか。又、状況に応じた対応は出来ているか。
- コロナ禍の中で、就職活動も web 上で会社説明会や面接をする企業が増えて来ている。ネット環境等の整備に努めてもらいたい。

<今後の改善、方針等>

- 毎年、次年度の教育体制を整えるべく、施設点検や必要とする備品の検討を行っている。又、昨今の就職活動の状況を踏まえ、web上での説明会や面接に対応できるブース等の環境整備も行った。
- ハード的な教育環境の整備は概ね理想形に近くなってきた。今後は学生サービスを含むソフト面の充実を図っていきたい。

7,学生の受入れ募集

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、進学ガイダンスや高校訪問などが厳しい時期もあったと思うが、最近の状況はどうか。
- 入学相談室と教務部の情報交換を密にし、高校生や保護者、関係の先生方へ教育成果を伝えられるように努力して欲しい。
- 学納金についての検証など行われているか。

<今後の改善、方針等>

- 高校訪問は依然として事務室前での対応が多く、進路室での情報交換が出来てない状況だが、反対に進学ガイダンスは、2年前と比較すると開催の機会も増え、高校生との接点が持てるようになり感触がわかるようになってきている。
- 今後、入学相談室と教務部で定期的に時期を定め、情報交換の機会を設け、より積極的なコミュニケーションを図って行きたい。
- 学納金について、他校と大差は無く妥当と感じている。今後も精査しながら見て行きたい。

8,財務

- 外部への情報公開は、ホームページ上にて適切に行われていると思うが、内部に対し職員の意識向上につながる情報提供をしたほうが良い。
- 学校全体の予算収支計画だけでなく、各分掌が目途と出来る計画を提示するのも良いのではないか。

<今後の改善、方針等>

- 財務状況等、情報公開が義務付けられている為、ホームページ上で公開しているが、全職員へ向けた報告は出来ていない為、会を設けて職員への報告を行い、その上で、職員が適正に評価できる体制を作って行きたい。

9,法令等の遵守について

- 個人情報の保護について、プライバシーポリシー等、定められて周知されているが、定期的な見直しも必要である。
- 自己評価結果については、ホームページ上で公開されている。評価方法についても毎年見直し行われている。